

薄膜太陽電池合弁会社の設立について
三洋電機、新日本石油共同プロジェクト



記者各位

三洋電機株式会社(本社:大阪府守口市、社長:佐野精一郎)と新日本石油株式会社(本社:東京都港区、社長:西尾 進路)は、本日1月23日付で薄膜太陽電池合弁会社「三洋ENEOSソーラー株式会社」を設立いたしました。

急速に進む地球温暖化問題により低炭素社会の実現は全世界共通の課題となっています。また、金融危機に端を発する世界的な景気低迷も深刻度を増してきています。そうした問題に対し、特に米国では、「グリーンニューディール政策」と呼ばれる新たな政策を掲げており、クリーンで無限のエネルギー源である太陽光発電の積極的な導入に向けた動きが活発化しつつあります。この動きは今後、先行している欧州諸国も巻き込み全世界に拡大していくものと思われませんが、薄膜太陽電池は、最も安価なコストの実現が見込まれる太陽電池であり、大規模発電システム用途を中心に急速に市場が拡大することと期待されます。

新合弁会社は、三洋電機がHIT太陽電池[※]で培った世界最高水準の変換効率を誇る太陽電池要素技術、薄膜太陽電池の基礎技術、および新日本石油が持つ石油精製や化学品製造で培ってきたガスの原材料技術、大規模な太陽光発電の有望市場と目される中東産油国との信頼関係等、両社の強みを結集し、早期事業化を図り、高性能で信頼性のある製品を市場に供給することで、急拡大が見込まれる薄膜太陽電池における世界のリーディングカンパニーを目指します。

新合弁会社は、当初80MW規模で2010年度内の生産・販売を開始した後、順次生産規模の拡大を図り、国内外を合わせ2015年度に1GW規模、2020年度には2GW規模の生産・販売を目指してまいります。

■新合弁会社の概要

会社名: 三洋ENEOSソーラー株式会社
資本金: 2億円(資本準備金:2億円)
設立日: 2009年1月23日
代表者: 代表取締役社長 五十嵐 未知人
(前 三洋半導体(株) ビジネス開発室 室長)
代表取締役副社長 湯原 尚一郎
(前 新日本石油(株) 国際事業本部 薄膜太陽電池プロジェクト室 室長)

本社所在地: 東京都文京区本郷三丁目10番15号(JFAハウス内)

出資比率: 三洋電機50%、新日本石油50%

業務内容: 薄膜太陽電池の製造技術の開発、製造及び販売

※HITはHeterojunction with Intrinsic Thin layerの略。HIT太陽電池は、三洋電機が開発した独自構造の太陽電池セルで、結晶シリコン基板とアモルファスシリコン薄膜を用いて形成したハイブリッド型。高変換効率・温度特性等の優位性により、設置面積当たりの発電量世界NO.1(2009年1月23日時点)を誇るものです。

以上

【お問い合わせ先】

三洋電機株式会社 コーポレートコミュニケーション本部広報部 TEL:06-6994-3546
新日本石油株式会社 広報部広報グループ TEL:03-3502-1124